

みやぎ復興パーク通信

みやぎ復興パーク活用レポート

ポーラテクニカ株式会社 編

◀ “グローバルニッチ” ▶

ポーラテクニカ株式会社は、医療用水処理装置・水質管理機器などの研究開発・製造・販売・保守を業務とするテクノ・モリオカ株式会社（本社：山形県長井市）のグループ会社として平成 25 年 4 月に設立された。製品開発におけるデザイン戦略、機構設計、新事業の R&D に関わる業務を担っている。

人工透析用水などの医療用の純水装置、水質管理用の水質センサーや付帯するセンサーネットワーク技術など、東北から全国、世界に新しい技術や製品を発信するグローバルニッチ企業を目指している。同社の経営戦略や産学連携による取組みなどについて、森岡雄一社長と川名隆宏プロジェクトマネージャーに話を伺った。

◀ Sensing eye ▶

ポーラテクニカでは、環境水（河川、湖沼など）や医療用水の TOC^{*}測定計や水質計など、水質監視、水処理に関わるニッチな市場をターゲットに製品開発を行っている。

製品開発においては、モデリングによる製品提案、試作から金型製作までのすり合わせを、3D-Cad データの高度化と最新の 3D-Printer での造形で短期間での高精度な製品化を図っており、新製品、新技術提案を積極的に行っている。

平成 27 年度は、世界的なデザイナーの指導の下、こうした企画力・提案力を背景に「Sensing eye」というブランド戦略を提案し、水質管理機器のシリーズとして製品化に成功している。新ブランドは、東北に生きる企業として、自然と調和する「シンプル&クリーン」な色合い、「創造と調和」を表現するデザインを採用し、このブランドの下、「東北」から製品と技術を発信する意味で「グローバルニッチ」を経営戦略の方針とした。



3D-Printer (AGILISTA)

* TOC(全有機炭素)は、水中に含まれる有機物の量。有機物を構成する炭素の量を測定し、有機物の量に関連付けることで、COD、BOD に代わる新しい水質汚濁の監視や上水道、環境水質を管理する指標とされている。

Sensing eye

「私たちの物づくり」と「お客様の思い」を橋渡しするツールが「デザイン」であるとのコンセプトから誕生しました。

一步、未来を見据え、グローバルな視点で、環境と調和した「シンプル＆グリーン」がブランドイメージの原点です。

美しい日本の自然に見られる鮮やかな深みのある青が「創造と調和」を表現しています。

グローバルニッチ企業を目指す、新しい製品ブランドです。



《産学官連携による研究開発》

森岡社長は、テクノ・モリオカの創業（昭和 59 年）間もなく、水質管理機器の開発に着手しその評価を目的に山形大学工学部との共同研究を開始、以来、山形県工業技術センターや産業技術総合研究所、宮城県産業技術センター等、多くの学術・研究機関との共同研究を通じて、ものづくり企業として技術開発に積極的に取り組んでいる。

水に関わる展示会（東京ビッグサイト）にも積極的に出展している。また「産学官連携フェア 2015 みやぎ」（平成 27 年 12 月 9 日 みやぎ産業振興機構主催）へは産業技術総合研究所東北センターとの共同研究による「燃焼 - NDIR 方式 TOC 計の開発」をテーマに出展した。また、細胞化学の研究分野に係るニーズに対しても積極的に提案し続けることも、将来の事業戦略のひとつとしている。

平成 27 年 4 月に「医療用水などの品質管理用 TOC 計の開発」により「文部科学大臣表彰 科学技術賞技術部門」を受賞。同年 10 月には「無線システムによる水質計測とピーク電力削減および先端モデル農業への展開」により「ものづくり日本大賞 東北経済産業局長賞」を受賞した。

「平成 28 年度は、我が社の得意分野である医療や農業、食品を中心とする事業分野に製品展開するとともに、これまで積み上げてきた 3D-Cad、3D-Printer 技術と組み合わせた商品開発を積極的に推進していく。また、高度調整水事業を通じ、東北が地域産業として基盤をなす農業や醸造分野に対して一層力となれるよう、企業努力を傾注していきたい」と、森岡社長は語る。

《ポーラテクニカ株式会社様からのご挨拶》

当社は、平成 25 年 4 月に 21 世紀プラザ研究センターにて産声を上げ、事業拡張のため翌年の平成 26 年 8 月に、みやぎ復興パークに入居させて頂きました。多くの方々の

ご支援を戴いて参りました事、この場をお借りしてお礼申し上げます。

そして、今年4月、ポーラテクニカは創業4年目を迎えます。新年度の始まりに当たり、その思いを漢字で表すならば、「翔」と言う一文字にあたるでしょうか。自らの更なる高みを目指しながらも、社会に貢献できる存在になりたいとの思いを込め、世界を視野に大きく羽ばたいて行きたいと思っております。引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ポーラテクニカの皆さん（革新生んだ「理想工場」の新聞記事 2015.12.20 の前にて）
左から関様、プロジェクトマネージャーの川名様

＜ポーラテクニカ株式会社＞

平成 26 年 8 月復興パーク入居

〒985-8589 多賀城市桜木 3-4-1 みやぎ復興パーク F-21 号館 5F 従業員 6 名

Tel 022-352-3671 Fax 022-352-3672

※平成 28 年 6 月 30 日付けで退去されました。

【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】

公益財団法人みやぎ産業振興機構 産学連携推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目 14 番 2 号

TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923

(みやぎ復興パーク・平成 28 年 3 月の状況)

○入居者数・・・・・・・・ 28 団体 (入居率 58%)